

Form 5

平成 22 年 2 月 18 日

サイエンス・ダイアログ事業 実施報告書

1. 参加機関(学校名)・担当者: 静岡県立磐田南高等学校 ・ 山村 京子
2. 参加研究者: Dr. Alexandre Laine
3. 実施日時: 平成 22 年 2 月 16 日 (水) 14 :10 ~ 15 : 10
4. 参加生徒: 2 年生 39 人、 1 年生 0 人、 3 年生 0 人 (合計 39人)  
備考: 2年理数科生徒
5. 講演題目: (英文) “Modelling of the Earth climate”  
(和文) 地球の気候のモデリング
6. 講演概要: 「気候」とは何か。地球の熱収支は人体の熱収支と基本的なしくみは同じ。ただし、地球の緯度により、また海陸の分布、その他の要因で、地域によって大きく異なる。気候変動は、現在の気候の観察や古気候、また将来の気候をモデリングすることにより研究されている。モデリングで無視できないのが、温室効果ガス、特に CO<sub>2</sub>である。現在は間氷期で、過去の同期と比較すると CO<sub>2</sub>の濃度の急速な増加は特筆すべきであり、気候変動への影響は無視できない。しかし、その他にも、火山の噴火などの予知できない環境要因もあり、気候変動のモデリングは非常に複雑なものになる。
7. 使用言語: 英語
8. 講演形式:
  - (1) 講演時間 55 分 質疑応答時間 5 分
  - (2) 講演方法  
プロジェクター使用による講演
  - (3) 通訳  
受け入れ研究者によるサポート  
協力者 職・氏名  
東京大学大学院理学研究科 准教授 中村 尚
  - (4) 事前学習時使用教材(事前学習を行った場合のみ)  
専門用語や中村研のホームページの一部を印刷して1週間前に配布。
9. 支給経費: 交通費 宿泊費 謝金
10. その他特筆すべき事項: